

Iwatani



◆ 経営者賞

まきの・あきじ

牧野 明次さん

— 岩谷産業会長兼CEO

この度は、身に余る賞を頂戴し驚いています。伝統ある「経営者賞」をいただきましたことは、当社が創業以来、80有余年、「世の中に必要なものこそ栄える」との企業理念で、経営にあたって参りました事をご評価いただいたものとして、心から感謝申し上げます。

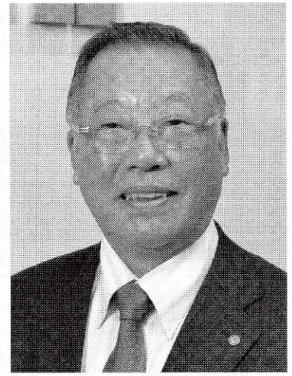
当社は「ガス&エネルギー」が基幹事業ですが、今回の受賞は、特に「水素社会の実現」に向けた取り組みと、災害時にライフラインの早期復活にあたった企業行動等を高くご評価いただいたものとして、社員全員で喜んでるところであります。

当社は創業者が「水素事業」を手掛けてから75年に亘る歴史があります。水素は究極、かつ無尽蔵のエネルギーであり、社会生活を根本から変える「新たな産業革命」を起こす可能性を秘めています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに、一つの姿を見せることができると考えています。

今後も皆様のご協力をいただきながら、水素社会実現に向け、全力を尽くして参ります。

(東京・西新橋の東京本社にて)

撮影=齊田 勤



牧野 明次さん
まきの・あきじ

「入社した時、創業者から『水素で飛行機が飛ぶようになるぞ』という話を聞いたことが忘れられません」と振り返る。

水素は「究極のクリーンエネルギー」と呼ばれるが、岩谷産業は1941年から取り組み、工場向けの水素販売や、「液化水素」の技術開発を進めてきた。牧野氏も89年から本格的に水素事業に携わってきたが、社内には利益につながるかわからない水素事業に反対の声もあった。

だが、牧野氏は粘り強く取り組み、2006年に関西電力と共同出資で国内最大の液化水素プラント「ハイドロエッジ」を立ち上げ、14年には国内で初めて、燃料電池自動車に水素を供給する商用の「水素ステーション」を開設。今も「水素社会」実現に力を注ぐ。

牧野氏は1941年9月大阪府生まれ。65年大阪経済大学経済学部卒業後、岩谷産業入社。88年取締役、常務、専務などを経て、98年副社長、2000年社長、12年会長兼CEO。09年からは関西経済連合会副会長も務めており、「働き方改革」にも尽力している。

平成28年度 財界賞・経営者賞

平成28年度

財界賞・経営者賞

【第61回】
財界賞

経済同友会代表幹事
小林 喜光

財界賞特別賞

三菱総合研究所理事長
小宮山 宏

【第59回】
経営者賞

アサヒグループホールディングス
会長兼CEO
泉谷 直木

岩谷産業会長兼CEO
牧野 明次

九州旅客鉄道会長
唐池 恒二

小西美術工芸社社長
デービッド
アトキンソン

インターネット・スクール・オブ・
アジア 軽井沢代表理事
小林 りん

財界賞・経営者賞 選考委員

- 伊藤 邦雄 (一橋大学大学院商学専攻科特任教授)
- 大宅 映子 (評論家)
- 小野 征人 (日本経産連理事)
- 熊谷 亮丸 (大和総研執行役員チーフエコノミスト)
- 堺屋 太一 (作家)
- 柴生田 晴四 (東洋経済新報社社長)
- 堀 信彦 (ジャーナリスト)
- 福川 伸次 (元通産事務次官、東洋大学理事)
- 村田 博文 (前会長兼、総合ビジネス誌「財界」主幹)